

農学を極める「地の利」がここ鳥取にある。
先人が蓄えた「知の利」もここ鳥取にある。



未来のあなたへ…

将来、あなたは
もっともっと地球のこと、
いのちの大切さのことを考える
人間になります。

鳥取大学農学部

Faculty of Agriculture, Tottori University

生命環境農学科

Department of Agricultural, Life and Environmental Sciences

共同獣医学科

Joint Department of Veterinary Medicine

農学のスズメ

鳥取大学農学部には、
あなたの夢を
カタチにかえる
チカラがあります。

農学は、生命の学問。

“いのち”を育み、“いのち”の神秘を知る。
そして、その営みのよりどころである“地球環境”を守りつづける…
それが、私たちの使命です。

農学部インフォメーション

DX技術を活用した農業に貢献できる人材を養成しています！

我が国では、農業従事者の減少や高齢化による担い手不足が加速しています。一方、農作物の栽培に関する知識や技術は経験則に基づく「暗黙知」であることが多く、その修得は容易ではありません。これらを補うため、スマート化を含む農業のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでおり、これを活用して農業に貢献できる人材の養成が求められています。

農学部附属フィールドサイエンスセンターでは、作業と同時に土壌肥沃度や生育程度などのデータが取得可能な水稲用スマート農機3台（田植機、管理機、収量コンバイン）を導入しました。また、トマト用の大型ビニルハウスに温度や日射量などを計測するセンサーを設置し、そのデータに基づく高度な栽培管理ができるよう整備しました。

「農業DX人材養成プログラム」では、農場実習において、取得したデータから最適な栽培管理法を解析する技法などについて学修します。さらに、農業DX関連科目や食の6次産業化プロデューサー関連科目も履修することで、生産から流通・販売までの農業DXについて深く理解し、「農業×デジタル」に秀でた高度な人材を養成しています。



学生移動型授業（大学教育導入演習）を行っています。

鳥取大学と岐阜大学の学生が相互の大学へ移動し、合同で受講する授業を「学生移動型授業」と呼びます。大学教育導入演習は、共同獣医学科カリキュラムの中で両大学の学生が一緒に受講する最初の演習科目です。

1年次には、岐阜大学の学生が鳥取大学に移動して合同授業を行います。学内では、鳥取大学で行われている研究の内容や特徴の紹介を通して、両大学の学生が獣医学の多彩さや多様な社会貢献に関する理解を深めます。学外では、畜産試験場と放牧場で実習を行います。畜産試験場では牛の精液採取・検査、超音波検査、搾乳の見学と講義を受け、放牧場では畜舎環境の測定（温湿度や風速の測定）と放牧地見学を行って家畜衛生について学びます。両大学の学生が実習期間をともに過ごすことで、親交を深め一体感が醸成されます。

2年次になると、今度は鳥取大学の学生が岐阜大学に移動し、合同授業を行います。岐阜では、鶏や競走馬の獣医療の現場見学等を通して、獣医学に関する知識と両大学生の結束をさらに深めます。



取得可能な教員免許・資格

□教員免許

中学校教諭1種（理科）
高校教諭1種（理科、農業）

□資格

（必要な単位を取得して得られるもの、卒業後資格試験を受験できるもの、実務経験が短縮されるもの、受験に有利になるものを含む）

甲種危険物取扱者
食品衛生管理者及び食品衛生監視員
樹木医補
自然再生士補
食の6次産業化プロデューサー（レベル3）

畑地かんがい技士
環境計量士
中・上級バイオ技術者
毒物・劇物取扱責任者
技術士補（農業・環境・森林・建設）

環境衛生監視員
獣医師
と畜検査員
食鳥検査員 等

多種・多様な職種・業界で活躍

生命環境農学科・主な就職先

公務員・公益財団・教員
種苗・菌会社・農業法人
農業資材、農機具会社
食品関連会社、化学・製薬会社
土木・開発コンサルタント
建設土木・造園施工
農協・生協、金融業等
進学



詳しい就職先はコチラ

共同獣医学科・主な就職先

公務員・公益財団
産業動物臨床
小動物臨床（動物病院）
展示動物施設（動物園など）
企業
進学



詳しい就職先はコチラ



生命環境農学科

Department of Agricultural, Life and Environmental Sciences

「生命の神秘を解き明かす知力」「地球を守り抜く活力」「真理を探究し続ける忍耐力」を育みます。



地球を愛するあなたへ

現在、農林業を取り巻く環境は大きく変わってきており、「農業の6次産業化」、「農林業を基軸とした地方創生」、「農作物の海外輸出」といった新しい流れが生まれています。一方で、地球温暖化に起因する気候変動は、作物・果樹栽培などの食料生産や里地や里山といった田園環境、森林環境にも大きな影響を及ぼしています。

このような状況の変化に対応するために、「生命環境農学科」では、生命科学と環境科学の成果を積極的に取り込んだ新たな農学教育を展開し、地域規模（ローカル）から地球規模（グローバル）までの広範な課題の解決に農学の立場から貢献する人材を養成します。

■教育コース



国際乾燥地農学

乾燥地を中心とした開発途上国における砂漠化などの環境問題や食料生産に関わる農業問題について、専門的な知識や適正な対応技術が学べます。また、海外での実習や調査の機会を通して、国際性のある人材育成を目指します。

卒業後は、海外展開している企業や農業開発・環境・海外協力コンサルタント、海外青年協力隊など海外の現場で活躍できます。



里地里山環境管理学

自然環境と農林業との相互作用によって生み出された二次的自然環境である里地里山の保全管理と利活用に関する専門的知識と技術が学べます。地方創生の現場における実習を通じて実践力を獲得できます。

卒業後は、国家・地方公務員、農協、森林組合、環境コンサルタント、造園会社、商社、金融、食品流通業、農林業生産者・消費者団体などで活躍できます。



植物菌類生産科学

農業における持続的な生産を発展させるために、多様な植物および菌類が持つ有用遺伝資源の発掘、生産、利用、開発(新品種の育成)、に関する専門知識と技術が学べます。

卒業後は、国家・地方公務員、農協、種苗・種菌会社、農業資材会社、食品関連業、薬品メーカーなどで活躍できます。



農芸化学

生命のしくみを個体レベルから分子レベルで解明し、生命活動をつかさどる多様な化学物質の発見やその機能の利活用を目的として、食料生産・作物保護と食品開発・食品分析などの生物学と化学の知識を基本にした

農芸化学領域の専門的知識と技術が学べます。卒業後は、環境分析会社、国や地方の試験研究機関(環境、農業)、食品関連業、農薬・肥料メーカー、製薬会社等で活躍できます。



大学院

Graduate School

さらに学びを深めるために。

持続性社会創生科学研究科 農学専攻 国際乾燥地科学専攻 (博士前期課程2年)

持続性社会創生科学研究科(博士前期課程)農学専攻、国際乾燥地科学専攻では、地域と地球の持続的な発展に貢献する、分野横断的な俯瞰的視点と高度な専門性を有する人材を養成します。



関連施設



▲乾燥地研究センター



共同獣医学科

Joint Department of Veterinary Medicine

人と動物との共生を目指し、動物の健康だけでなく、あらゆる命の専門家を養成します。



動物好きなあなたへ

人獣共通感染症や家畜伝染病の大規模発生、伴侶動物や野生動物に対する国民の意識の変化などにより、「動物と社会の繋がり」と「動物と人の健康と福祉」の重要性が増してきました。本学科では、動物の健康の増進や公衆衛生の向上に寄与することができ、人間社会や環境の健全性維持に貢献できる「動物の命の専門家」を育成しています。そのため、日本だけでなく国際社会をリードする者に不可欠な教養教育を基盤に、動物に関わる総合的・実践的かつ高度な獣医学教育を展開しています。

6年間の努力の 集積が実を結ぶ。



共同獣医学科は下記の4講座で構成され、それぞれにいくつかの教育研究分野があります。これらの分野が分担、協力し獣医学の知識と技能を習得させ、次のような人材の輩出を目指します。

- 1 伴侶動物、産業動物、実験動物、野生動物の健康の維持に関する幅広い知識と技能を有する人材
- 2 大規模家畜伝染病の突発的な発生などに対応できる問題解決能力を有する人材
- 3 未知の疾患や難治疾患に接した際などにも対応策を探し出すことができる科学的・論理的思考力を有する人材
- 4 災害などに際して動物の健康維持のみならず公衆衛生業務にも迅速に携わることができる実践的行動力を有する人材
- 5 社会性と獣医学関連海外事情を積極的に収集できる国際性に優れた人材
- 6 食の安全・安心や家畜伝染病および人獣共通感染症などに対するリスクマネジメント能力を有する人材
- 7 多様化、高度化、国際化しつつある獣医学に対する社会的要請に対応し、公共獣医事を担うことができる人材

■講座

基礎獣医学

牛、馬、豚、鶏や犬、猫のみならず野生動物、水生動物を対象として、動物たちの健康維持あるいは社会福祉に関係する幅広い学問分野で、動物の健康と病気を理解するのに必要な知識を学びます。各分野ではさまざまな動物の形態と機能に関して個体、組織、細胞レベルで研究を行っています。



病態獣医学

動物の病気を理解することを目的とした学問分野で、病気の発生するメカニズムや病気が引き起こす動物の体の変化を学びます。各分野では動物の病気を生体・細胞・寄生体(病原体)・遺伝子レベルで解明して、予防・治療に役立てることを目的に研究を行っています。



応用獣医学

基礎および病態獣医学を基盤とした総合的な学問分野で、動物個体に留まらず、人や動物を取り巻く環境要因を含む総合的視野に立った健康管理や疾病制御についての実践的な知識と技術を学びます。各分野では、動物に病気を引き起こす物理・化学的要因に加え、モデル動物を用いた解析を通じて、動物の健康管理や動物や人の生存環境の保全・改善など、疾病制御や産業動物の生産性向上などにつながる研究を行っています。



臨床獣医学

動物の病気の原因を解明し、診断・治療および予防法を確立するとともに、動物の健康管理を通して社会に貢献することを目的とした学問分野で、動物の健康状態を改善するための知識を学びます。各分野では病気の発生メカニズムと病態を解析し、動物をさまざまな病気から守ることを目的に研究を行っています。



連合農学研究科

(博士課程3年)

鳥取大学を基幹校に、島根大学及び山口大学と連合して、1大学のみではなし得ない広範かつ専門性の高い教育研究分野を組織し、水準の高い農学系の大学院博士課程として教育研究を推進しています。



共同獣医学研究科

(博士課程4年)

本研究科は鳥取大学と岐阜大学で共同設置されました。生態系の健全性を含む動物や人の健康に関する幅広い分野の獣医学の高度化に貢献でき、国際社会又は地域社会における指導的役割を果たす獣医学専門家を育成することを目指します。





附属施設

Institutes

最先端の研究成果を地域に還元し、特色ある研究を推進します。

より地域に、より高度に

机上の知識を確かめて、世界をリードする教育研究拠点を目指すため、農学部には5つの附属教育研究施設があります。

フィールドサイエンスセンター

Field Science Center



広大な農地や森林などのフィールドを活用した研究・教育・地域貢献を実践するとともに、農学部における総合的なフィールド科学の情報発信基地としての機能を担っています。農業生産工程管理に関する実践と教育を行うフィールド教育部門、栽培技術の高度化や農作業の軽労化などの教育研究を行うフィールド活用部門、4つの教育研究林を活用した教育研究を行う森林管理部門から構成されています。



ホームページ



パンフレット

動物医療センター

Veterinary Medical Center



一般に開放された二次診療施設として、病気の診断・治療や予防、健康や病気に関する相談を実施するとともに、共同獣医学科学生の臨床教育を実施しています。診療科としては内科、外科、産科、皮膚科、循環器科、腫瘍科、神経科、眼科、検査科、産業動物科があります。診療では動物の命を守るための高度な技術を提供します。また、社会で活躍している獣医師の卒後教育も実施しています。



ホームページ

鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター

Avian Zoonosis Research Center



さまざまな人獣共通感染症が出現して大きな社会問題になっています。本センターでは、鳥インフルエンザの国内での出現予測、病原体の生態、病原性、遺伝子性状の解析などを行い、新たな流行防止対策の確立を図り、国内危機管理体制確立に寄与することを目的に研究しています。その他、サルモネラと腸球菌感染症などの対策にも国際的な規模で取り組んでいます。



ホームページ

共同獣医学教育開発推進センター

Center for the Development and Promotion of Joint Veterinary Education



本センターは共同獣医学科における岐阜大学と鳥取大学教員による効率的・効果的な獣医学教育法の開発・実施・評価を推進する目的で設置されました。ICT活用による遠隔地間授業の推進のほか、効果的な教材を供給し、両大学の教員間・学生間意思疎通を図り、学生に対して獣医師に必要な知識・技術並びに人間力の養成につながるプログラムを開発します。



ホームページ

菌類きのこ遺伝資源研究センター

Fungus/Mushroom Resource and Research Center



世界最大規模のきのこを中心とした菌類の培養菌株を保有しています。培養菌株は貴重な遺伝資源として国内外の研究者に分譲提供しています。また、本センターでは、これらの資源を利用して、有用きのこの栽培法の開発、きのこがつくる生理活性物質の応用利用を目指した研究などに取り組んでいます。



ホームページ



パンフレット

アクセス

Access



●航空機

東京(羽田)→約70分→鳥取砂丘コナン空港
 ※鳥取砂丘コナン空港から鳥取大学まで車で約5分

●JR

大阪→特急で約2時間25分→鳥取駅
 岡山→特急で約1時間45分→鳥取駅
 ※鳥取駅から鳥取大学前駅まで、JRで約10分・駅から徒歩1分

●バス

京都→高速バスで約3時間25分→鳥取駅
 大阪→高速バスで約2時間55分→鳥取駅
 広島→高速バスで約5時間30分→鳥取駅
 ※鳥取駅から路線バスで鳥取大学前バス停まで約30分



鳥取大学農学部

Faculty of Agriculture, Tottori University

【問い合わせ】

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4 丁目 101
 TEL:0857(31)5343 FAX:0857(31)5347
 Email:ag-syomu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

<http://muses.muses.tottori-u.ac.jp>

鳥取大学農学部

検索



2023.6 発行